

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築計画 I	担当教員	鶴田佳子		
学年学科	3年 建築学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(D-2 設計・システム系) 100%				
授業の目標と期待される効果： 空間計画の技法および各建築物の用途に応じた計画理論とそれに関連する計画技法を修得することによって、建築物を設計するための基礎となる知識を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。 ①建築計画の概念およびプロセスの修得。 ②基本的な空間の計画技法の修得 ③建築設計製図 I の課題に対応した施設計画に関する計画理論・技法の修得。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点+期末試験 100 点+課題 20 点程度 後期：中間試験 100 点+期末試験 100 点+課題 20 点程度 学年：前・後期の重みを等しくして合計し得点率 (%) で成績をつける。 達成度評価の基準： 建築設計製図 I の課題作成で必要となる理論および技法を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。成績評価の重みは、授業時間数に比例し、①：②：③=1：2：2.7 とする。 ①建築計画に関する基本的な概念と建築計画のプロセスに関する説明問題が 6 割以上できること。 ②空間構成の基本的な技法およびダイアグラムの作成に関する問題が 6 割以上できること。 ③各施設計画を行う際に基本となる理論とおよび技法に関する説明問題が 6 割以上できること。			
授業の進め方とアドバイス：建築計画・設計を進める上での基礎となる、「建築計画の概念とプロセス」・「空間の計画技法」を最初に学習した後、建築設計製図 I の課題に対応する各施設の計画の技法について学習する。					
教科書および参考書：コンパクト建築設計資料集成（日本建築学会編 丸善）					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：建築計画の概念とプロセス					
第 2 回：空間計画の技法（空間構成の考え方と手順）					
第 3 回： " （空間構成の手法）					
第 4 回：独立住宅の計画（住宅の機能と生活空間の構成）					
第 5 回： " （公室の計画）					
第 6 回： " （私室の計画とバリアフリー）					
第 7 回：住宅計画の歴史的展開					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：図書館の計画（図書館の機能／出納システム）					
第 10 回： " （モジュラープランニング／閲覧室・書庫の計画）					
第 11 回：博物館の計画（全体計画）					
第 12 回： " （展示室の計画／収蔵庫の計画）					
第 13 回：劇場の計画（全体計画／劇場形式の変遷）					
第 14 回： " （オーディトリウムの計画）					
第 15 回： " （舞台の計画）					
期末試験					
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）					

授業の概要と予定：後期	
第17回：	学校建築の計画（教育課程と運営方式）
第18回：	〃（全体計画）
第19回：	〃（全体計画）
第20回：	〃（教室の計画）
第21回：	集合住宅の計画（集合住宅計画の変遷・計画の課題）
第22回：	〃（住戸近傍空間の計画技法／住戸計画の技法）
第23回：	〃（配置計画の技法・住棟計画の技法）
第24回：	中間試験
第25回：	事務所建築の計画（コアシステム）
第26回：	〃（オフィスレイアウト形式）
第27回：	〃（事務所建築の変遷）
第28回：	複合施設の計画（複合空間・施設の概論）
第29回；	〃（機能計画・配置計画）
第30回：	〃（配置計画）
第31回：	〃（空間計画）
期末試験	
第32回：	フォローアップ（期末試験解答解説など）